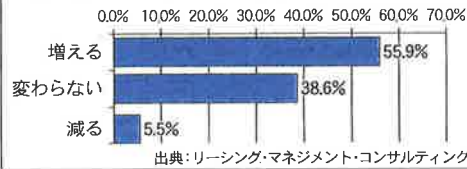


22年繁忙期の仲介ニーズ予測を調査

21年より「増える」が59.1%

Q:2022年の引っ越しシーズンについて、個人客からの問い合わせはどのような動きが予想されますか？



リーシング・マネジメント・コンサルティング

リーシング・マネジメント・コンサルティング(東京都港区)は、「2021年における新型コロナウイルスの影響調査ならびに22年引っ越しシーズン(1~3月)における

動向予測」を1月26日に発表した。

同調査は、21年12月7~24日にかけて、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、大阪府に所在する賃貸不動産仲介店舗347社に対するアンケート調査。

22年の引っ越しシーズンにおける個人客の動向予測に関して、問い合わせが「増える」と回答した仲介会社は59.1%、「変わらない」は36%、「減る」は4.9%だった。

「駅距離に対するお客さま需要はどうか？」に対しては、30.3%が「駅距離が遠いことを気にしなくなった」と回答。

「職場との距離に対するお客さま需要はどうか？」では、43.8%が「職場から遠い駅でも気にしなくなった」と回答した。交通機関や職場へのアクセスを重視しなくなった部屋探しユーザーが一定数いたことがわかった。